The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	発刊にあたって
Author(s)	西森, 年寿
Citation	未来共創. 2025, 12, p. 1-1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/102516
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

『未来共創』第12号をお届けします。

発刊にあたって

今号には、「論文」としてバラエティー豊かな3本が掲載されています。「研究ノート」はエヴァ・イルーズ氏の講演について企画・コメンテーターをつとめた筆者からの報告です。「報告」では、学生たちによる岩手県野田村のフィールドワークに加えて、アムステルダムからの報告もあります。前者のフィールドワークは、人間科学研究科の授業「コミュニティ・ラーニング」の中での取り組みです（2024年8月17～25日実施）。「書評」も投稿いただきました。

特集のテーマは「社学共創」です。社学共創は私たち未来共創センターの中心的な理念でもあるといえます。大阪大学オムニサイト（OOS）やIMPACTオープンプロジェクトといった事業もその具体的な取り組みの一つです。

私は今年、本誌の編集委員長のバトンを受け取りました。恥ずかしながら、この段になって、ようやく本誌をまじまじと見てみると、未来共創という本誌の名称は、各原稿のメッセージを受けとめた上で、どんな未来をみんなで創っていくのかを読者に問いかけているようにも思えてきました。本誌のコトバが、読者のみなさまの未来の共創に少しでもインパクトを与えられたらと願うばかりです。

編集にあたっては、編集委員会の先生がた、ご査読いただいた先生がた、そして、未来共創センター特任研究員の磯島浩貴さん、レカポラ編集舎の小野寺さんに大変にお世話になりました。ありがとうございました。

2025年3月6日

『未来共創』編集委員会委員長
附属未来共創センター長
西森 年寿